

平成 29 年 12 月

高進路だより

兵庫県立伊川谷高等学校 進路指導部

年明けの一般入試に向けて

確認しておきたいこと

就職試験や推薦入試も一段落して、受験シーズンも半分過ぎたところでしょうか。年内に進路先を決めた人は、年末年始はゆっくりできるでしょうが、センター試験や私学の一般入試を受験する人にとっては、しばらく何かと勉強に集中しにくい時期になります。世間の喧噪に惑わされず、年明けの入試に向けて最後の追い込みをかけていきましょう。

言わずもがなのことばかりですが、年明けの一般入試に向けての注意点を挙げておきましょう。

1 早めに願書を取り寄せておこう

一般入試の出願は、早いところでは 12 月中に始まります。年明け出願の大学でも、一般入試の受験を考えている人は、今年中には願書を入手しておきましょう。特に、国公立の受験を考えている人は、この冬休み中には自分が受ける可能性がある大学（学部）の願書はそろえておきましょう。実際の受験に際しては、センター試験受験後の自己採点結果を見て二次出願先を決めることになるのですが、自己採点から出願まではかなりタイトな日程になり、その時になって取り寄せていると、出願に間に合わないおそれが出てきます。願書は時間的にも精神的にも余裕のある時期にそろえておきましょう。

そして、願書を入手したら、しっかりと隅々まで目を通しておくこと。受験当日の持ち物やタイムスケジュール、合格発表後の入学金振込み締切り日時など、大切な事がたくさん書かれています。また、ない方がよいのですが、万一、事故や病気で

受験できなかった場合の対処のしかたなども書かれています。当日になって慌てないように、必ず確認しておきましょう。

2 スケジュールを確認しておこう

受験日がいつかというのは当然知っていると思いますが、その前後のスケジュールは理解しているでしょうか。

例えばセンター試験関係。すでに何度も言っていることですが、年内に大学入試センターから受験票・写真票・成績請求票が送られてきます。受験票には、申し込んだ受験科目に関する事項（受験できる教科・登録科目数など）や、試験場に関する事項が記載されています。申し込んだ内容が間違っていないかしっかり確認すると共に、これで初めて自分の受験会場がどこかがわかります。会場までの交通手段や所要時間など、あらかじめ確認しておくべき点は、この時点でしっかりチェックしておきましょう。

センター試験は 1 月 13 日・14 日の土曜・日曜です。私学受験の場合も土曜・日曜であれば、電車・バスは休日ダイヤ運行だということを忘れずに。当日は雨や雪が降るかも知れません。試験場まで近いからといって、いつも通りにいかないことも想定しておく必要があります。

また、早いうちに受験票と写真票に同一の写真を貼り付けておくこと。試験当日の朝に「あっ、忘れてた！」では、受験以前にそれだけで動揺してしまいます。

本命校の合格発表日と、（先に合格を決めた）併願校の入学金納入日には、日程的な余裕があるでしょうか。もし、同日なら、場合によってはお金を持って銀行へ走らなければならないかもしれません。いつ、どれだけのお金が必要なのか、保護者の方にきちんと説明し、理解しておいてもらいましょう。受験では、入試難易度だけにこだわるのではなく、お金の面での無理・無駄のない併願を考える事も必要です。

3 受験にあたっての注意点

受験前日まで

・言うまでもないことですが、健康面に注意すること。

体調管理もこれから数ヶ月の大切な仕事です。栄養面を考えてしっかり食べて体力をつけましょう。

・夜型から朝昼型に切り替えよう。

受験勉強を続ける中で、夜遅くまで勉強するリズムが体についてしまって、昼夜が逆転していませんか。そのままでは、試験時間中に頭の回転をピークに持っていきません。徐々に頭と体のリズムを昼型に戻しておきましょう。

試験当日

・すべてに余裕を持った用意・行動をしよう。

時間的な余裕はもちろんですが、例えば鉛筆や消しゴムなど多い目に持っていく（シャープペンシル 1 本だけで勝負、などもってのほかです）、万一に備えてお金を多い目に持っていくなど、すべてに余裕を持った用意や行動をしましょう。アクシデントに備えて連絡先を控えておくのも、精神的な余裕を生むことにつながります。

試験中

・優先順位をつけて問題を解く。

時間を有効に使うためには、問題を解く順番も大切なことです。解き始める前にすべての設問にまずザッと目を通し、時間のかかりそうな問題かそうでないか、得意な問題かそうでないかを見て、確実に解ける自信のある設問から解くよう心がけましょう。

・とにかくすべての設問にマークしておきましょう。

・訂正をする際には跡が残らないよう完全に消しゴムで消す。1 つの設問に 2 個以上のマークをしていないかなど、つまらないことで得点を失うことのないように細心の注意を払いましょう。

・センター試験なら自分の答案を記録しておく。

センター試験受験後の個別学力検査の出願は、センター試験の自己採点結果をもとに決定することになります。自己採点を正確に行うため、受験中は解答番号を問題冊子に必ず控えておきましょう。